

9月1日

テーマ：「**罪人を招くために**」

聖書箇所：**マタイの福音書9章9節～13節**

◆今日のみことば

「わたしはあわれみは好むが、いけにえは好まない」とはどういう意味か、行って学んで来なさい。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。

マタイの福音書9章13節

◆メッセージ

罪人とは、神さまのことばや思いを第一としないで、自分勝手に生きている人たちのことです。神のひとり子であられるイエスさまは、そんな罪人である私たちのところに来られました。罪人だから汚れていると遠ざけしないで、近づいてくださいました。



マタイさんは、取税人という人々からお金を集めるお仕事をしていました。その時代の取税人は、人々から余計なお金を集めては、自分のものにしていました。つまり、ずるをして人のものを盗んでいました。ですから、人々から嫌われていました。イエスさまは、そんなマタイさんのことを見て、「わたしについて来なさい」と声をかけられました。マタイさん

は嬉しくて、イエスさまについて行きました。このマタイさんが、弟子の一人になったマタイさん。マタイの福音書を書いたマタイさんです。

マタイさんだけではありません。イエスさまは、他の取税人や罪人たちと食事をなさいました。取税人や罪人たちは人々から嫌われていたので、他の人たちと食事をしたくても出来ませんでした。でも、イエスさまは違いました。取税人や罪人たちといっしょに食事をなさいました。それを見た聖書を研究している律法学者やパリサイ人たちは、イエスさまに「なぜ、罪人たちといっしょに食事をするのですか？」と質問しました。彼らは、自分たちのことを罪人だと思っていなかったからです。「聖書のみことばを知っている。盗みもししていない。人殺しもしていない。正しい人間だ。」と。イエスさまは、答えました。「正しい人ではなく、罪人を招くために来ました。」この言葉は、イエスさまが私たちのところに来てくださった目的を表わしていました。そもそも、すべての人が罪人です。でも、自分が罪人で救いが必要だと思っている人々は、汚れているのでイエスさまのもとに近づけないと思ってしまう。だから、イエスさまが招いてくださっているのです。



私たちも、神さまのことば・思いを選ばずに、自分勝手に生きてしまう罪人です。しかし、そんな私たちをイエスさまは「見てくださり」「声をかけてくださり」「いっしょに食事をしてくださる」愛のお方・お優しいお方です。あなたは、イエスさまの招きにどのようにこたえますか。

◆お祈り

「イエスさまが、私を招いてくださったこと、ありがとうございます。私も、イエスさまのように、生きられますように」

(矢作キリスト教会牧師 竹内智之)